

「文と文をつなぐ言葉」 2

組

番

名前

模範解答

★意味を考えてつなぎ言葉を使おう。

一. 次の問いに答えましょう。

①ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。だから、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちらですか？

顔を○でかこみましょう。



②ぼくは、一生けんめいに漢字の勉強をした。しかし、八十五点だった。

このときの気持ちに合う顔はどちらですか？

顔を○でかこみましょう。



つなぎ言葉は、内容と内容のつながり方をはっきりさせるだけでなく、話し手や書き手の

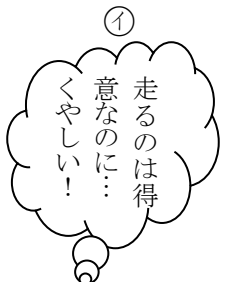
気持ちを表すことがあります。

二. 次の文の「 」には、**だから**、**しかし**のどちらでも入れることができます。次の場

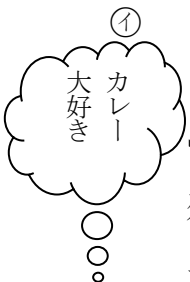
合はどちらのつなぎ言葉を入れたらよいでしょうか。**だから****しかし**を選び○でかこみま

しょう。

①徒競走で一生けんめい走った。「 」、「二位だった。」



②今日の給食はカレーライスだった。「 」



三. () に当てはまるつなぎ言葉を書き込みましょう。

①明日から家族旅行で沖縄へ旅行する。() ()、ワクワクしている。

() ()、台風が近づいていて心配だ。

②柿がたくさん実った。

() ()、ほとんどしぶ柿だった。
() ()、家族で、柿をとることにした。

